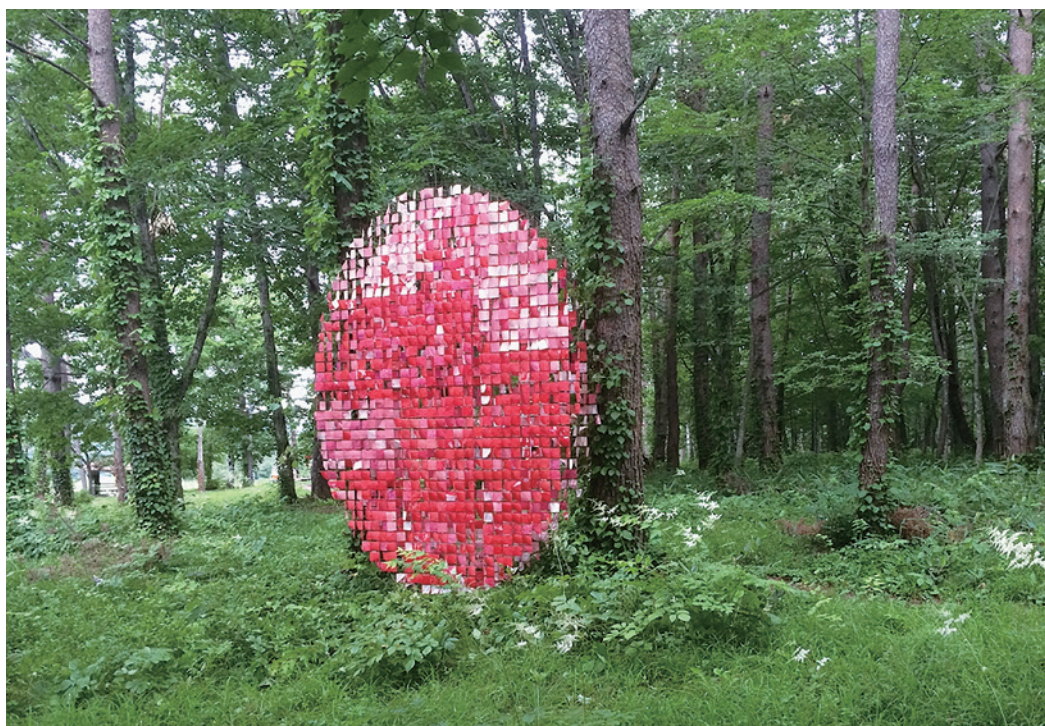


Digest of Science of Labour
労働の科学

2024
July
Vol. 79, No. 7



風の楕円／菅沼 緑

特集

医療現場が変わる, 医療を変える

COVID-19 を超えて看護師に何が起きたか／吉川悦子

医師の時間外労働上限規制の導入に向けた, よりよい医療勤務環境づくりのための提言／野原理子

医師の過労死・過労自殺の実態と医師の働き方改革への期待／吉川 徹・高橋有記

巻頭言

包括予防を支える経験交流をさらに
小木和孝

連載

タイプライターの歴史とタイプスト⑦

三宅章介

凡夫の安全衛生論議②

福成雄三

軽労働化で農業の再生⑥

宇土 博

労研アーカイブを読む⑩

椎名和仁

つれづれなるままに⑱

千葉百子

自由と想像⑲

菅沼 緑

労働の科学



巻頭言

俯瞰 (ふかん)

包括予防を支える経験交流をさらに

小木 和孝 [大原記念労働科学研究所 主管研究員] 1

表紙作品：菅沼 緑「風の楕円」
材料：ワイヤーメッシュ+塗装紙
会場：滝沢アートフィールド（野外アート展、岩手・滝沢）
年度：2015年
撮影：菅沼 緑
表紙デザイン：大西文子



医療現場が変わる，医療を変える

COVID-19を超えて看護師に何が起きたか

..... [日本赤十字看護大学 看護学部] 吉川 悦子 5

医師の時間外労働上限規制の導入に向けた、 よりよい医療勤務環境づくりのための提言

医療勤務環境改善マネジメントシステム研究会

..... [東京女子医科大学] 野原 理子 10

医師の過労死・過労自殺の実態と医師の働き方改革への期待

..... [独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所／東海大学医学部] 吉川 徹，高橋 有記 22

Series

〈シリーズ〉日本スポーツ健康科学学会における職域の熱中症予防の取り組み(4)

熱中症予防指導士としての活動報告と現場の現状 山本 浩 27

ILOインド南アジア産業安全保健通信(19)

アスベストをめぐる 川上 剛 30

「#教師のバトン」で伝わる(34)

教職員の過酷な勤務環境 藤川 伸治 33

Series

軽労働化で農業の再生 (6) 農業における前屈姿勢 (腰部負担) 軽減対策 —②対策事例 (1)— 各論第5回	宇土 博	36
タイプライターの歴史とタイピスト (7) —科学的管理法の概要とオフィスの改善(2)—	三宅 章介	47

Column

自由と想像 (19) 風の楕円	菅沼 緑	57
凡夫の安全衛生論議 [疑問と思い込み] 「巡視」について考える (2/3) ~法令の規定~	福成 雄三	58
労研アーカイブを読む (101) 労働科学へのメッセージ1	椎名 和仁	60
つれづれなるままに スズ (Sn) のお話	千葉 百子	65
BOOKS 『ロダンと花子』『ロダンを魅了した幻の大女優マダム・ハナコ』 ロダンと花子	椎名 和仁	69
労働科学のページ		70
ろうけん川柳		71
次号予定・編集雑記		72



俯瞰 ふかん

包括予防を支える経験交流をさらに

小木 和孝

どの業種でも働く人の安全と健康を確保する経験の交流がすすんでいる。こうした経験交流の方向づけに役立っているのが、国際的な包括予防の捉え方である。安全で健康な働き方に関連する職場環境に広く目配りして予防策を講じていく取り組みを整えていく方向づけが求められている。

こうした包括予防の経験交流に役立つ視点を与えてくれたのが二〇二二年にILOが定めている中核的な国際的労働基準に「安全で健康的な労働環境」の二つの条約が新たに組み入れられたことである。それにリンクした国際的な動きとして、労使協力しての職場環境改善の経験交流が挙げられる。この互いに関連し合った進展から、職場ごとの包括予防の取り組みに役立つ見方をみてとることができ。

この中核的国際労働基準のなかに新たに含められたのが、ILO第一五五号条約（職業上の安全及び健康に関する条約）と第一八七号条約（職業上の安全及び健康促進枠組条約）である。ともに職場内の労使が協力して安全と健康面の向上に取り組むことを定めており、包括的な予防策の整備を工業国・途上国に共通した目標にしている。

この共通目標に見合って、国際的に普及しているのが、作業条件・職場環境・チーム連携など職場環境条件を広くとら

えて取り組む参加型改善の職場ごとの取り組みである。ILOによる普及活動もあつて、この職場環境条件を包括的に向上していくことを目標にする参加型改善活動が小規模事業場、農業、建設業など多くの業種で取り組まれるようになり、医療介護、オフィス業務などのチーム作業にも普及してきているのが特に注目される。

この包括的な「安全で健康的な労働環境」をめざす全員参加型の職場環境改善活動は、さまざまな業種で同時進行していて、その具体的な取り組み方、とくに職場環境条件の広域にわたる改善策の普及方法に学ぶべき経験が積まれている。労使協力による包括予防策実施の普及に役立つのが、多面にわたる職場環境条件を取り上げる具体的な手法と、職場ごとの現状に応じて改善策を実施していくステップ・バイ・ステップの手順の両面である。広い技術領域にまたがって対話して具体策を提案する手法が包括予防の普及に貢献しているとみたい。

とりわけ、職場ごとに検討会形式で改善策を提案していくさいに取り上げる技術領域の範囲が、異業種のあいだでほぼ共通している点、包括予防の見方によく見合っている。どの職場でも、資材の運搬保管、作業場所の操作し易さ、作業環境の向上、福利設備、作業編成、チーム作業の広域にわたる検討をもとに、す



こぎ かずたか
大原記念労働科学研究所 主管研究員

ぐでできる改善策を提案できるようにしてきた点が大いに参考になる。

もちろん、業種の特徴に見合った検討項目も重要であり、農業の野外作業、建設業の高所作業、医療介護の対人手順など、それぞれの作業現場に合わせた検討も欠かせない。そのさいも、業種間で共通する広い領域にわたつての改善策検討も常に欠かせない。この広い視点を支えるのが、良好事例の提示や、改善策提案用のチェックシートの活用である。この業種間で共通した経験から、広域にわたる視点を保ちながらのグループ対話をもとにした予防策提案が参加型改善活動に定着している。

職場ごとの労使対話による広域予防策に視野を広げた改善策提案の積み重ねが包括予防を支える手順となる。こうした経験が、それぞれの職場内で中核的国際労働基準に沿った包括予防活動を行えるようになっていく支えになる点に注目していきたい。